

平成28年度 よいこの森こども園 事業報告書

1 事業所概要

平成27年度の園運営において、本園（大在園舎）では保育認定の収容率が定数90人に対し115%と多く、一方、分園（角子原園舎：0歳～2歳のみ）では開園以降定数40人に対しわずか70%前後であった。

このため、供給資源の効率化と入所待機児童の解消を図るため、本園の定数を20人増やし、分園については0歳定数を廃止して定数40人を1～5歳に配分し直した。

(1) 本園（大在園舎）大分市花江川4番12号

定員 125人（1号認定：15人、2,3号認定：110人）年間入所率 101.5%

(2) 分園（角子原園舎）大分市角子原2丁目163番地

定員 40人（2,3号認定のみ。1歳児～5歳児40人）年間入所率 91.5%

2 主な事業成果

(1) 自主自発の保育(営める保育)の推進

①専門事業者への委託

営める保育を専門とする(株)営める保育に職員研修を委託し、質の向上を図った。

先進園への派遣研修 回数：12回 派遣者：延べ27人

テーマ別特別研修 回数：6回 派遣者：延べ12人

来園指導 回数：3回（対象者：職員全員）

②学校法人立山学園みんなの森こども園との共同研修

共同企画により、保育互見研修及び園内新任研修を行った。

新任研修 回数：7回 対象者：各回3人

互見研修 回数：6回 対象者：各回2～3人派遣（本園、分園とも）

③関連団体が行う研修への参加

大分市東部消防署主催の普通救命講習（胸部圧迫、AED使用等）の計画的派遣。

派遣職員：11人

その他にも、大分県が行った保育コーディネーター養成研修、(社)大分市保育協会、(社)大分市社会福祉協議会保育部会、大分県私立認可保育園連合会が行った各種研修にも、可能な限り参加した。

(2) 非認知的能力の育成と説明

幼保連携型認定こども園として、「遊びを中心とした教育」「環境設定を通じた教育」により、やりとげようとする意欲、他者と協力するための思いやりなどの資質を育み、クラス便り等によってその取組みやねらいを保護者に伝えた。

(3) 子どもの安全安心対策

食物アレルギー児に関する食事誤提供やケガ発生について、当該保護者も入れて再発防止策を検討したほか、森友会が県外で開設する園や立山学園みんなの森こども園とヤリハット事例や事故報告を情報共有し、危険察知を高める取り組みを行った。

(4) 利用者評価

昨年度に引き続き、園運営等に対する利用者の満足度を見るため、利用者評価（アンケート）を無記名投函方式で実施した。回答92家庭（67.1%）

大変満足・満足 83.3%、どちらともいえない 8.9% 不満・大変不満 7.7%

(5) 施設アメニティ、業務効率化の推進

角子原園舎の定数配分変更（三歳以上児定数新設）に伴い、トイレ改修工事を実施。

補助金を活用した、保育業務の効率化（ICT化）及び遊具の新設。

3 幼保連携型認定こども園としての地域支援事業

1) 一時預かり事業 一般型

受け入れ日数：242日 利用者延べ人数（子ども）：643人

(2) 育児講演会（外部講師）

第1回：平成28年6月25日（土） 第2回：平成28年11月26日（土）